

授業科目名	ジオパークと地域	担当教員	川村 教一 松原 典孝 佐野 恭平
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年 第2クォーター		
講義内容	2010年に世界ジオパークネットワークに加盟した山陰海岸ジオパークには日本海形成に伴った多様な地形、地質、風土が存在する。ジオパークの活動は、それらを保護しながら地域づくりに活かそうとするものである。この講義では、フィールドワークを中心にジオパークの景観を観察し、活動の現場に接することで、地質・地形と文化・産業等との関係性を説明できることを目的とする。		
到達目標	ジオパークの自然景観のうち地質・地形、および地域の文化や産業について適切に説明できる。また、地質・地形と文化・産業等との関係性や地域におけるジオパーク活動の役割を適切に説明できる。		
授業計画	<p>教室で講義をしたのち、山陰海岸ジオパーク地域でフィールドワークを行う。その後、教室でまとめと発表を行う。1日ごとにレポートを課す。</p> <p>◆事前学習（第1日午後、第2日午前）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ジオパークとは何か ー各地のジオパーク、ジオパーク活動の考え方 2. 山陰海岸ジオパーク ーその特徴と活動 3. 日本海拡大とジオパーク ー火山とジオパーク 4. ワークショップ1 ー事前自主学习、調査の仕方 <p>◆第1回フィールドワーク（第2日午後）</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 玄武洞・ガイドの実際を見学 <p>◆第2回フィールドワーク（第3日）</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 竹野海岸の地形・地質見学（はさかり岩・淀の洞門） 7. ジオパークでの持続可能なビジネスについての講話 8. 竹野街中散策 <p>◆第3回フィールドワーク（第4日）</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 神鍋火山、溶岩流・湧水地点でのマスの養殖見学 10. ワークショップ2 ー発表準備 <p>◆まとめと発表（第5日午前）</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. ワークショップ3 ー発表準備 12. ワークショップ4 ー発表と意見交換 <p>生成系 AI の利用：利用しない</p>		
事前・事後学習	【予習】授業に際して指示するジオパークに関する参考資料を事前に読み込み（15h）		

	【復習】講義内容の理解を深め定着させるために参考資料を読み込み(15h)
テキスト	特に指定しない
参考文献	現地でのジオパークに関する資料等
成績評価の基準	<p>短期間であり、全日出席を前提とする。</p> <p>成績評価の基準 地形・地質、および地域の文化・産業等との関係性や、地域におけるジオパーク活動の役割を適切に説明できる力を身につけた者に、単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力（知識・技能、思考力、表現力等）の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 レポート（70%）を基準として、受講態度（30%：ワークショップ・発表および建設的な質疑応答等）を含めて総合的に評価する。</p>
履修上の注意 履修要件	授業における実習等の費用（入園料など）は学生の負担とする。
実践的教育	該当しない。
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。